

地域医療研修（内科）を経て

順天堂大学浦安病院初期研修医

斉藤 優奈

2月の一ヶ月間、私は五戸総合病院の内科で地域医療研修をさせていただきました。コロナ禍にも関わらず快く研修を受け入れていただき、お陰様で非常に実り多い一ヶ月間でしたのでご報告させていただきます。

まず豊富な内視鏡検査症例です。基幹病院では規模や医局員の人数の関係からも初期研修医が実際に内視鏡を握ることはほぼありませんが、上級医の新井田先生の丁寧な指導、看護師さんの寛容なサポート、患者さまのご好意で32症例の上部消化管内視鏡、13症例の下部消化管内視鏡を経験させていただきました。自分は不器用で手技に自信がありませんでしたが、新井田先生の指導がとてもわかりやすく、最終的には自身で観察を最後まで行い検査を完遂することができるレベルまで到達できました。他の病院ではなかなか経験できないことであり、自分の後期研修への自信の一つになりました。

次に、初めての外来診療経験です。基幹病院で救急外来を担当していましたが、高血圧や脂質異常症、糖尿病の長期管理に携わったり健康診断の異常指摘に関して精査したりという町民の健康維持のための診療は初めての経験であったため、最初は手探り状態でした。看護師さんや事務さんに処方のおし方や検査指示について教わり、生活習慣病のコントロールが悪ければどの薬剤を追加すべきか調べて上級医に相談する、と言うことを何回も繰り返していました。またどんなに時間がかかっても患者さんは根気よく待ってくださり、ニコニコと近況について報告してくださり、こちらにも元気をもらっていました。入院の決定や次回の外来受診について考えるのも自分であり、後期研修に向けて診療の舵を切る心構えを作るいい経験になりました。

また、ご家庭や施設の訪問診療にも多く同行させていただきました。人生の終末期をよりよく不安や寂しさのないように多くの職種や家族が関わり、その患者さんの希望にできるだけ沿うような工夫がたくさん施されており、町を上げて支えある精神を垣間見ました。

一ヶ月間、今まで過ごしてきた環境とは異なる地域で医療を経験できて非常に勉強になりました。4月から内科専攻医となりますが、この経験を生かして研鑽して行こうと思います。

院長の安藤先生、内科の新井田先生、佐藤先生初め、医療スタッフのみなさま、事務さん、町民のみなさまにはたいへんお世話になりました。暖かく迎えていただき本当にありがとうございました。今後も後輩たちをよろしくお願い申し上げます。